



MS344 - 58005 / 58006

サイドスカート

取付・取扱要領書

この度はTRDサイドスカートをお買い上げ頂き誠に有難うございます。
本書は本製品の取付け、取扱いについての要領と注意を記載してあります。
取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付け、取扱いを実施してください。
なお、本書の取扱い上のご注意（ご使用になるお客様へ）は必ずお客様にお渡しください。

本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行ってください。

品番・適合車種

品番	塗装色	備考
MS344-58005-A0	ホワイトパールクリスタルシャイン (070)	アルファード / ヴェルファイア エアロ / ノーマル '18.01~
MS344-58005-C0	ブラック (202)	
MS344-58005-C1	スパークリングブラックパールクリスタルシャイン (220)	
MS344-58005-C2	パーリングブラッククリスタルシャインガラスフレック (222)	
MS344-58006-NP	未塗装品 (プライマー処理品)	

「スパークリングブラックパールクリスタルシャイン (220)」は、エアロボディのみ設定。

・最新の適合情報はTRDカタログサイトをご覧ください。 <http://www.trdparts.jp/>

構成部品

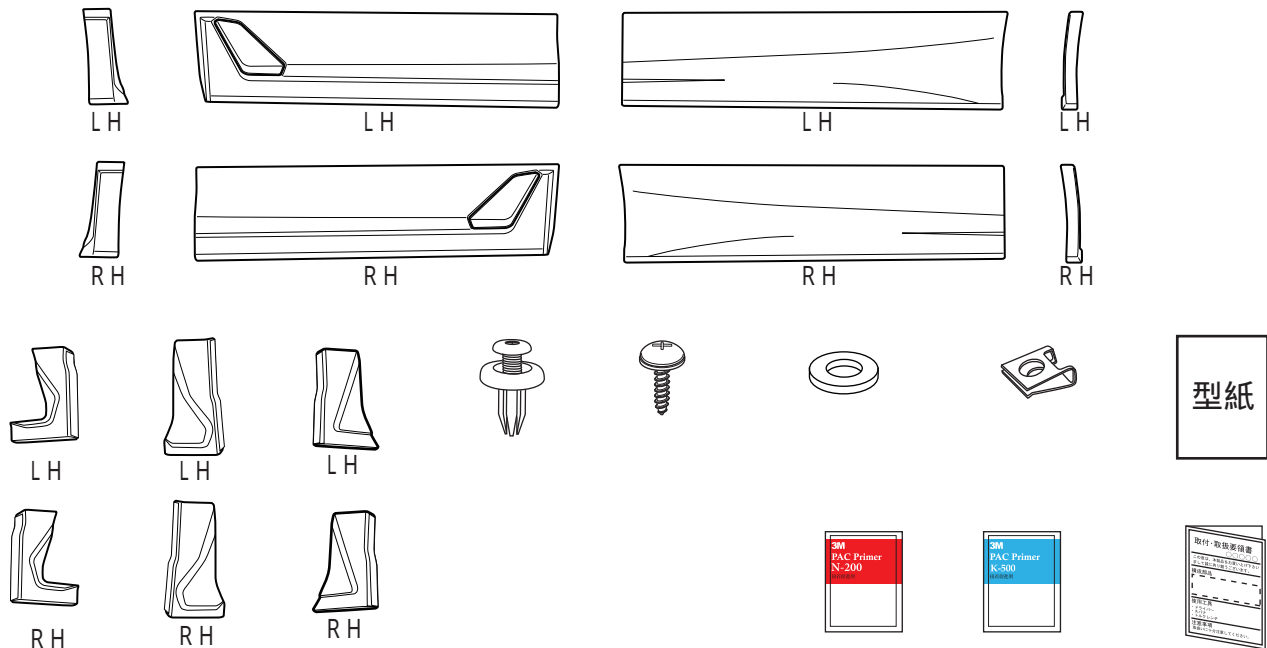
No.	品名	個数	備考
	フェンダーパネル R/L	各1	
	フロントドアパネル R/L	各1	
	スライドドアパネル R/L	各1	
	クォーターパネル R/L	各1	
	スペーサーA R/L	各1	
	スペーサーB R/L	各1	
	スペーサーC R/L	各1	
	クリップ	2	
	タッピングスクリュー	12	5 × 16
	ワッシャー	12	
	Jナット	12	5mm
	型紙	1	
	PACプライマー N - 200	2	赤袋
	PACプライマー K - 500	1	青袋
	取付・取扱説明書	1	本書

以下、MS344-58006-NP（未塗装品セット）のみに同梱

No.	品名	個数	備考
	メッキパーツ R/L	各1	
	モール	各2	黒 / グレー : L = 2200
	L字モール	2	黒 : L = 800
	PACプライマー K - 500	1	青袋

確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

構成部品図



以下、MS344-58006-NP（未塗装品セット）のみに同梱



モール 推奨使用色

塗装色（色記号）	モール色
ホワイトパールクリスタルシャイン（070）	グレー
ラグジュアリーホワイトパールクリスタルシャインガラスフレック（086）	グレー
ブラック（202）	ブラック
スパークリングブラックパールクリスタルシャイン（220）	ブラック
パーニングブラッククリスタルシャインガラスフレック（222）	ブラック
ダークレッドマイカ（3Q3）	ブラック
スチールブロンズメタリック（4X1）	グレー
グرافァイトメタリック（4X7）	ブラック

本製品は、ノーマルボディ、エアロボディに取り付けることができます。
ボディ形状により取り付ける部品が異なります。

	フロントドアパネル	スライドドアパネル
ノーマルボディ	スペーサーC	スペーサーB
エアロボディ	-	スペーサーA

部品の取り付け前に必ず取付位置と形状をご確認ください。

取付け上のご注意（取付け作業の方へ）

作業を行なう前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。



警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重傷等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⊘ やってはいけないこと

❗ 必ず行っていただくこと

⚠ 警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故を招く恐れがありますので絶対に行わないでください。
- ❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ❗ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締付けてください。締め付けが不足すると脱落などにより重大な事故や故障を招く恐れがあります。

⚠ 注意

- ❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合がないことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生した上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について（別紙の脱脂作業要領も参考にしてください。）

- ❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール(IPA)または、「(株)タクティー取扱いのシリコンオフ」を使用して確実な脱脂を行なってください。指定以外のシリコンオフは使用しないでください。
- ❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が不足すると両面テープが剥がれます。
- ❗ 両面テープの圧着は49N(5Kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が不足すると両面テープが剥がれます。
- ⊘ 本商品の取付け24時間は、洗車や水(水拭き含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

取付けが終わったら

- ❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
- ❗ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

目次

1. 表紙、適合表、構成部品表、構成部品図 1 ~ 2
2. 取付け・取扱いご注意(作業様へ) 3
3. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付構成図 4
4. 取付け要項 5 ~ 19
5. 取付け完了後の点検、注意事項 19

取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・一般工具・プラスドライバー・クリップリムーバー
- ・加工用工具(ハサミ・カッター等)・ヤスリ・ニッパー(薄刃)
- ・電動ドリル(刃: 3.0 mm/7.0 mm)・保護メガネ
- ・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ
- ・ホワイต์ガソリン又はイソプロピルアルコール(I P A)・清潔なウエス

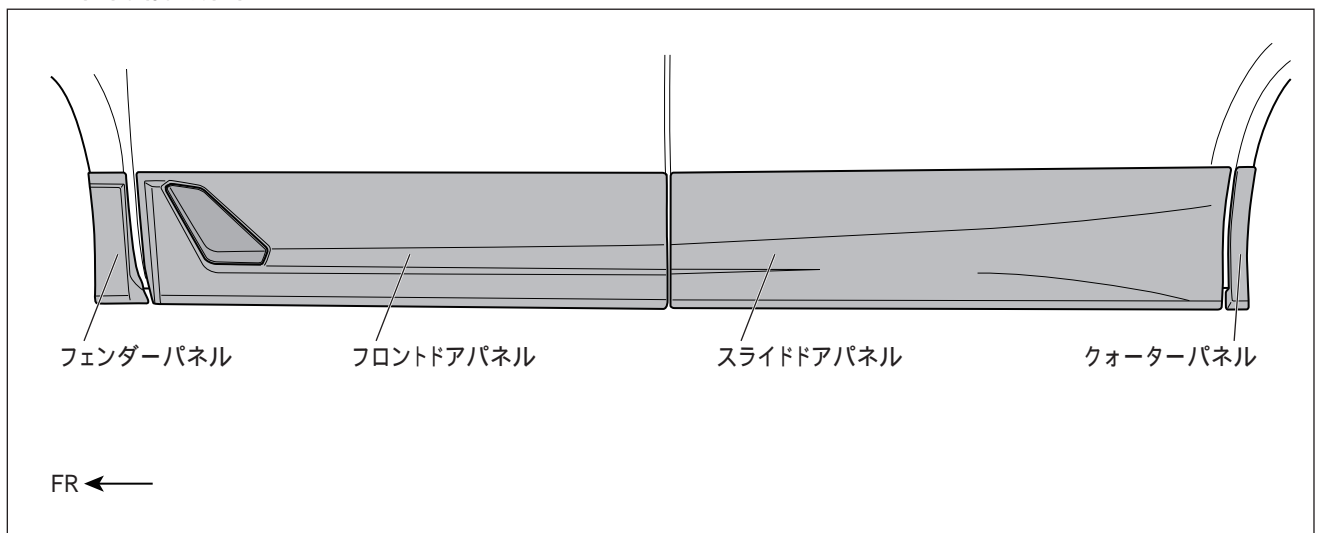
本商品は、1年・20,000 Kmの保証を実施致します。

(1年または20,000 Km走行時点のいずれか早い方まで)

保証の詳細はTRDパーツカタログサイト <<http://www.trdparts.jp/>>

「保証について」をご覧ください。

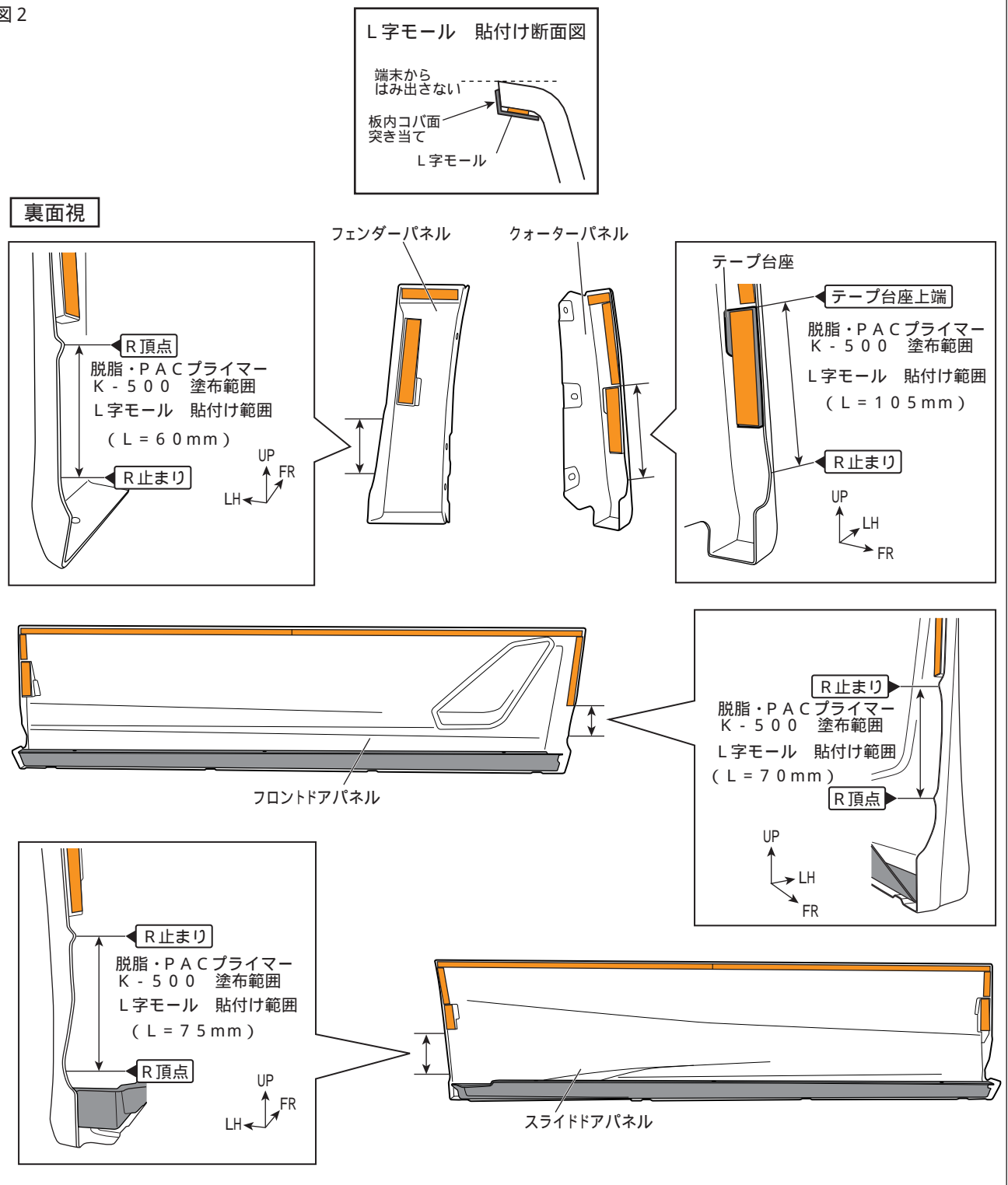
取付構成図



L字モールの貼付け

1. 図2のようにL字モール 貼付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂し、L字モール貼付け部のみPACプライマーK-500 を塗布する。
2. 図2のようにL字モールの両面テープの離型紙を剥がしながら、貼付け圧着する。
L字モールは長めに設定されているので、下図寸法に合わせてハサミ等で切り落とす。

図2



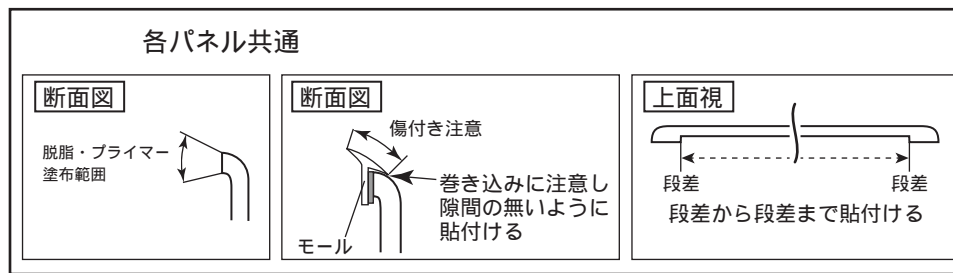
△注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにホワイトガソリンやIPA等で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

👉アドバイス：脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

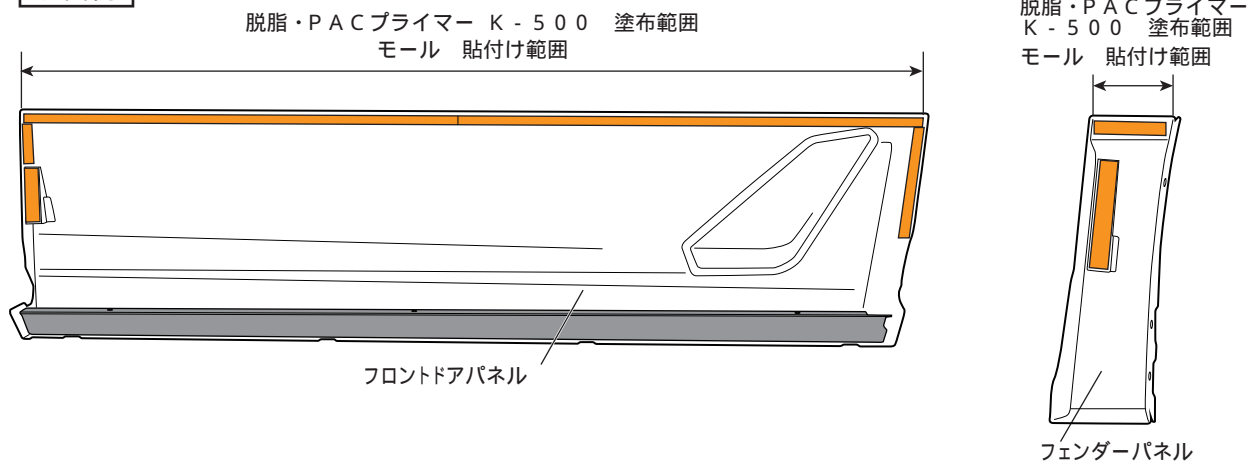
モールの貼付け

- 図3のようにモール 貼付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方方向に拭いて脱脂し、モール 貼付け部のみPACプライマーK-500 を塗布する。
- 図3のようにモール の両面テープの離型紙を剥がしながら、貼付け圧着する。モールの長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落とす。

図3

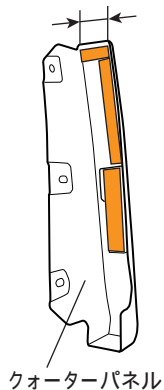


裏面視

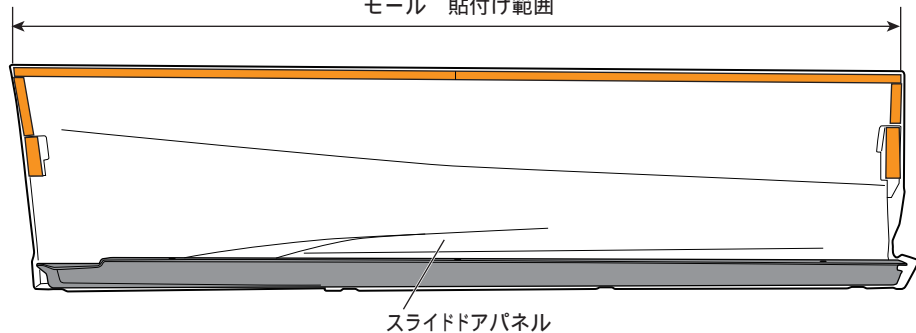


脱脂・PACプライマー
K-500 塗布範囲

モール 貼付け範囲



脱脂・PACプライマー K-500 塗布範囲
モール 貼付け範囲

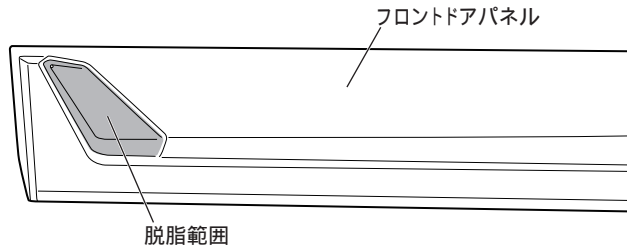


△注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにホワイトガソリンやIPA等で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

👉 アドバイス：脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

メッキパーツの貼付け

図 4



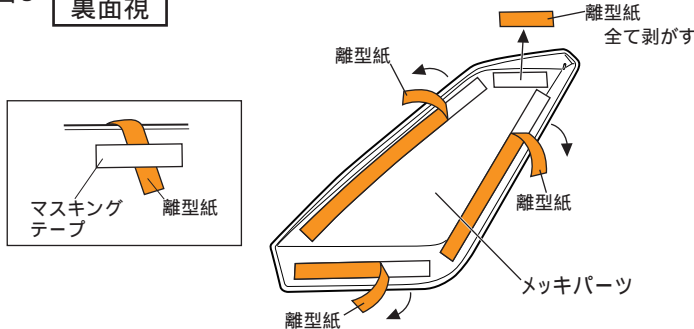
- 図4のようにメッキパーツ 貼付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方方向に拭いて脱脂する。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

図 5

裏面視

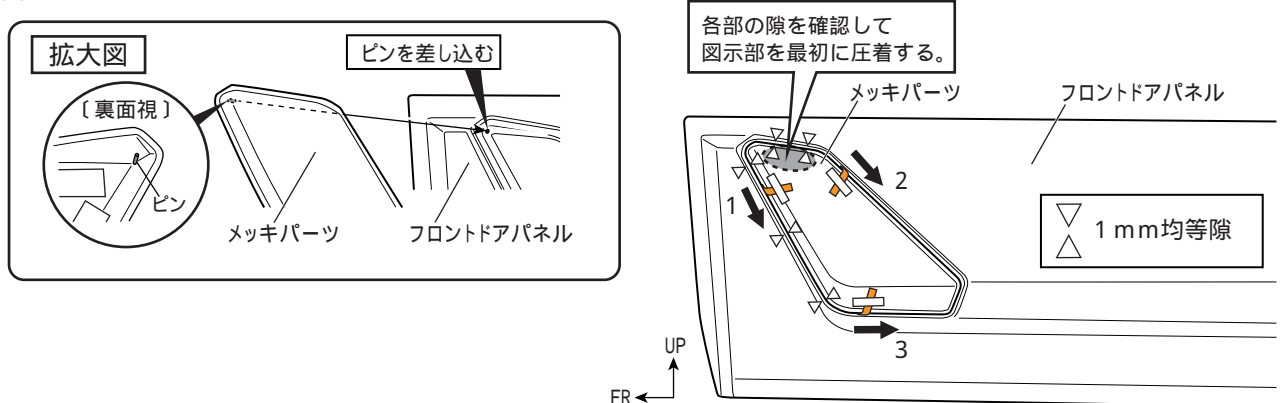


- 図5のようにメッキパーツ の両面テープの離型紙を矢印の方向に約30mm剥がしてマスキングテープ等で表側に貼付ける。

△注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40 程度に暖めてください。

- 図6のように各部の位置、隙を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼付け圧着する。

図 6



△注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。



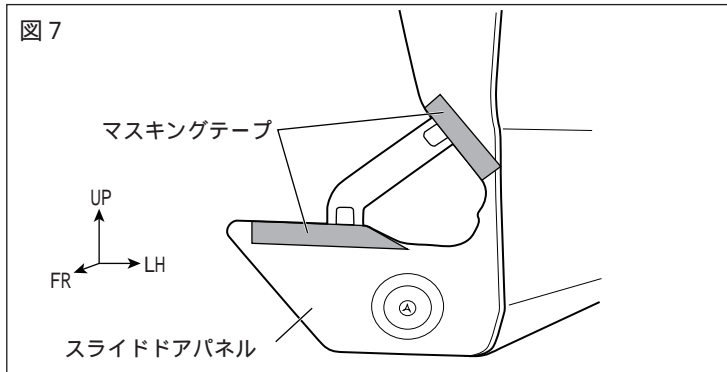
アドバイス

両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。製品の取付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が、掛からないようにオープンタイム（静止時間）お取りください。



警告

両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

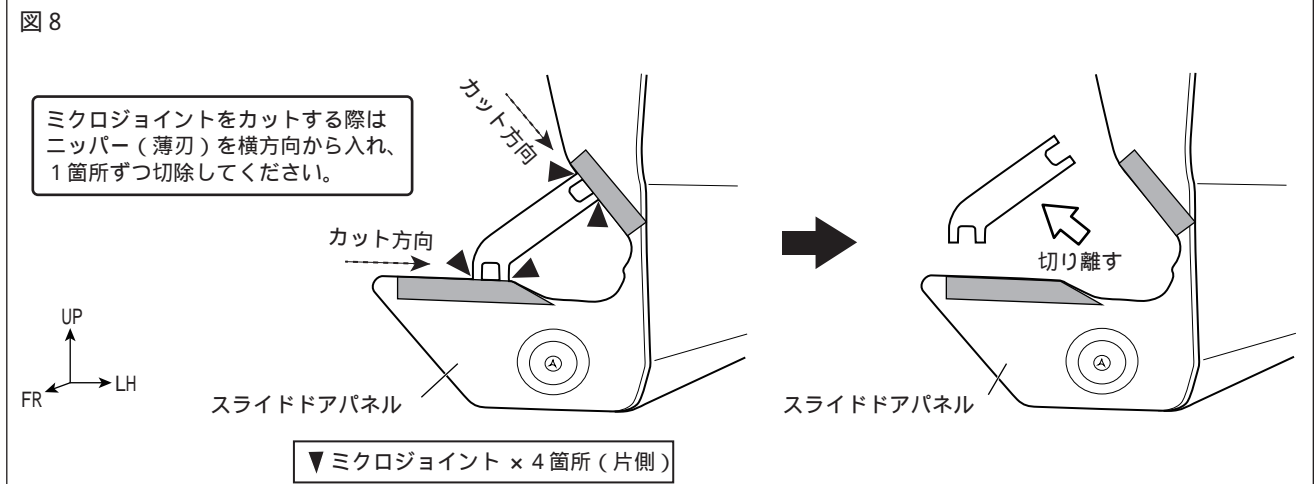


本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

スペーサーの取付準備

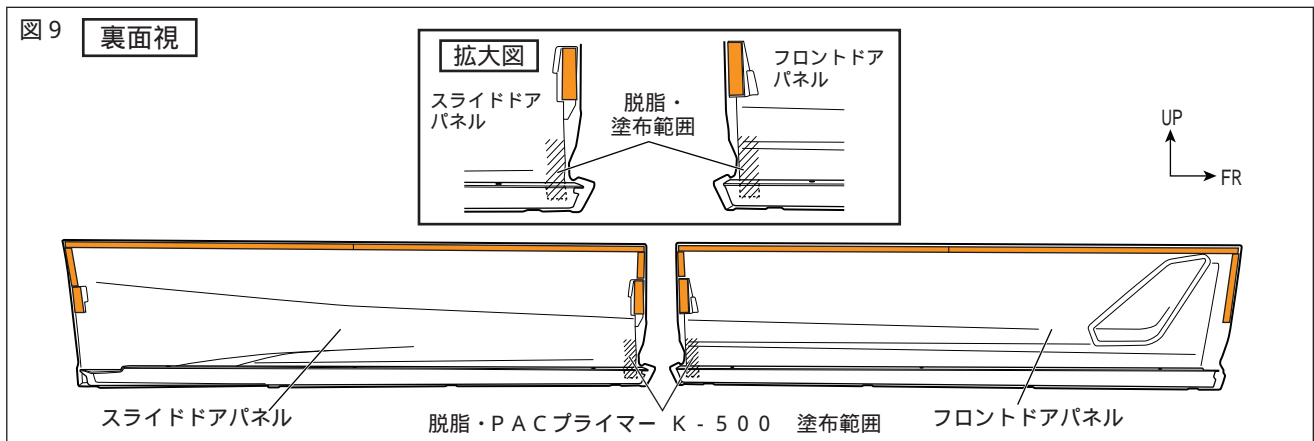
1. 図7のようにスライドドアパネル 前方折り返し部にマス킹テープを貼り付ける。

2. 図8のようにスライドドアパネル のマイクロジョイントをニッパー(薄刃)で1箇所ずつカットする。(左右各4箇所)



△注意:マイクロジョイントは、必ず1箇所ずつカットしてください。複数箇所を同時にカットすると製品の破損や塗装の割れが生じる恐れがあります。

3. 塗装面に傷が付かないように切除部のバリを除去し、マス킹テープを剥がす。
4. 図9のようにフロントドアパネル (ノーマルボディのみ)、スライドドアパネル (ノーマルボディ/エアロボディ) 裏側のスペーサー貼り付け部にPACプライマー K-500 を塗布する。



△注意:プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにホワイトガソリンやIPA等で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

👉 アドバイス:脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

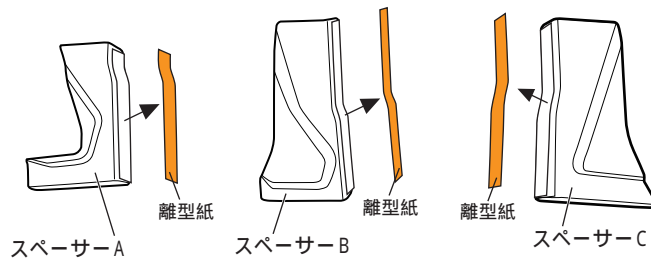
スペーサーの取付要領

【ボディ形状に合わせ、該当するスペーサーを取り付けてください。】

	フロントドアパネル	スライドドアパネル
ノーマルボディ	スペーサーC	スペーサーB
エアロボディ	使用しません。	スペーサーA

取り付け前に必ず取付位置と形状をご確認ください。

図 10



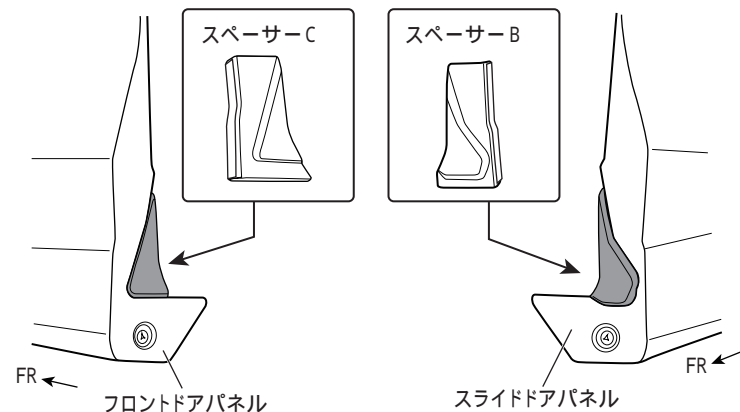
1. 図10のようにスペーサーの両面テープの離型紙を全て剥がす。

△注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

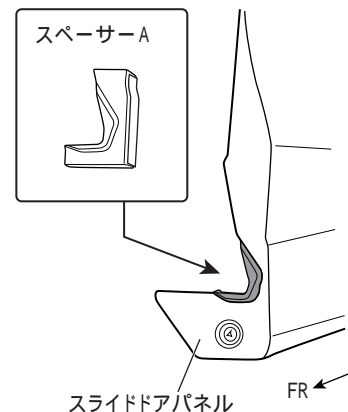
2. 図11のようにフロントドアパネル 後方折り返し部(ノーマルボディのみ)、スライドドアパネル後方折り返し部(ノーマルボディ/エアロボディ)に取付け位置及び各部の相沿いを確認しながら貼付け圧着する。

図 11

【ノーマルボディ】



【エアロボディ】

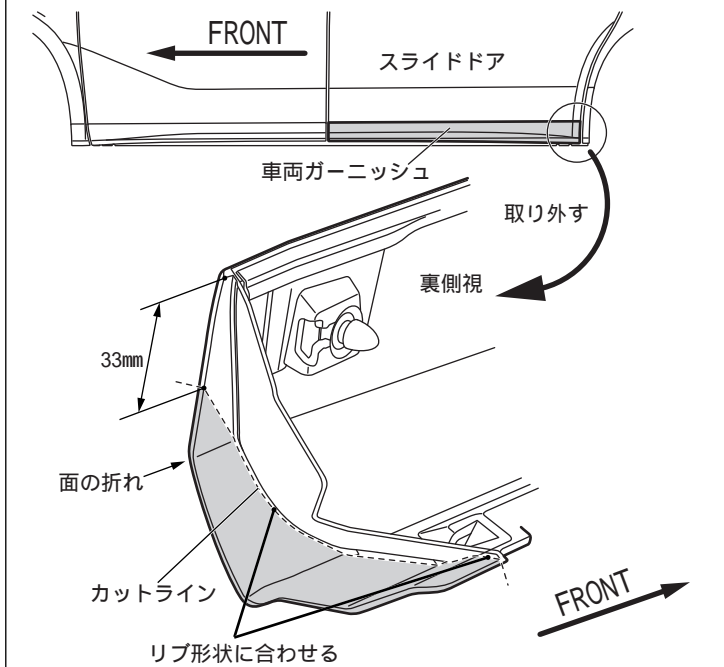


アドバイス 両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。製品の取付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧(車両の移動を含む)が掛からないようにオープンタイム(静止時間)お取りください。

警告 両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

注意：標準ボディタイプのみ、以下の4・5・6の作業をしてください。
エアロボディタイプはこの作業は行いません。

図14 LH図示 左右共通作業



4. 図14のように該当車両の修理書を参考にしてスライドドアから車両ガーニッシュを取り外す。

5. 図14のように車両ガーニッシュの後端部分をカット加工し、バリを取除く。

△注意：作業時は保護メガネを着用してください。

6. 該当車両の修理書を参考にして車両ガーニッシュをスライドドアに復元する。

7. 図15のように車両側面にサイドスカート取り付け高さ位置を図示寸法で計測し、マスキングテープ等でマーキングする。

図15 LH図示 左右共通作業

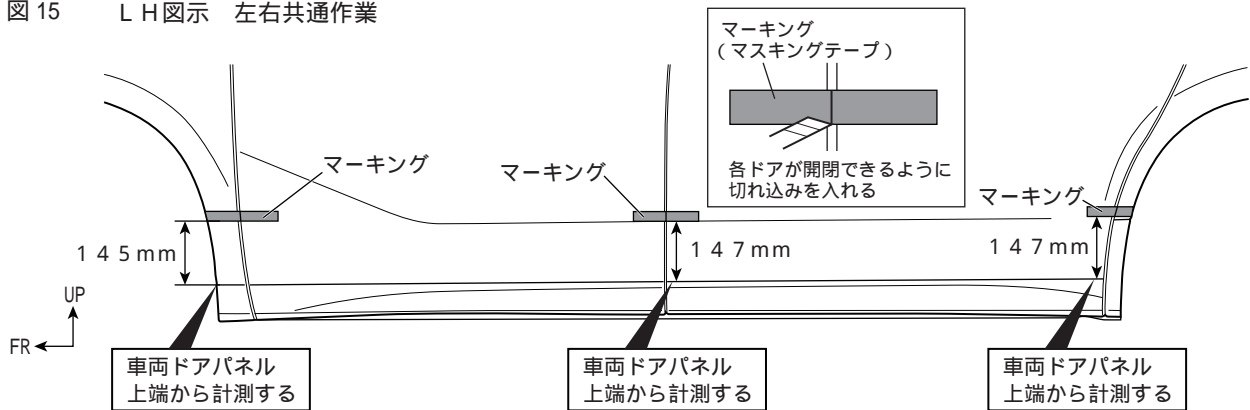
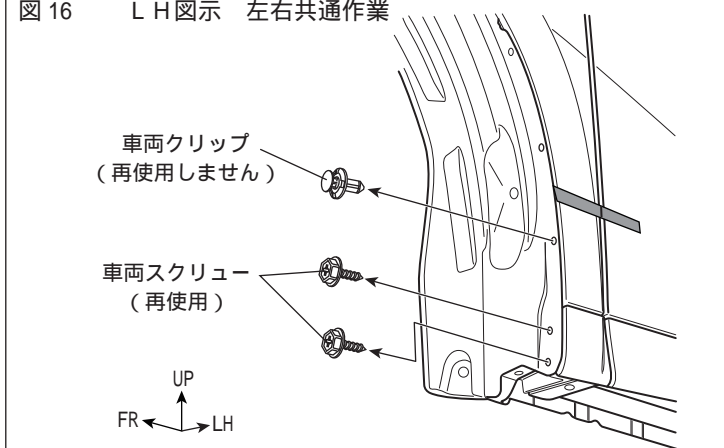


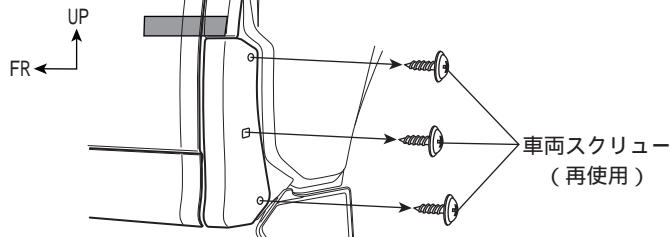
図16 LH図示 左右共通作業



8. 図16のようにフロントホイールハウス折り返し部の車両スクリュー及び車両クリップを取り外す。

△注意：取り外した車両スクリューは再使用する為、無くさないように保管してください。

図 17 LH図示 左右共通作業



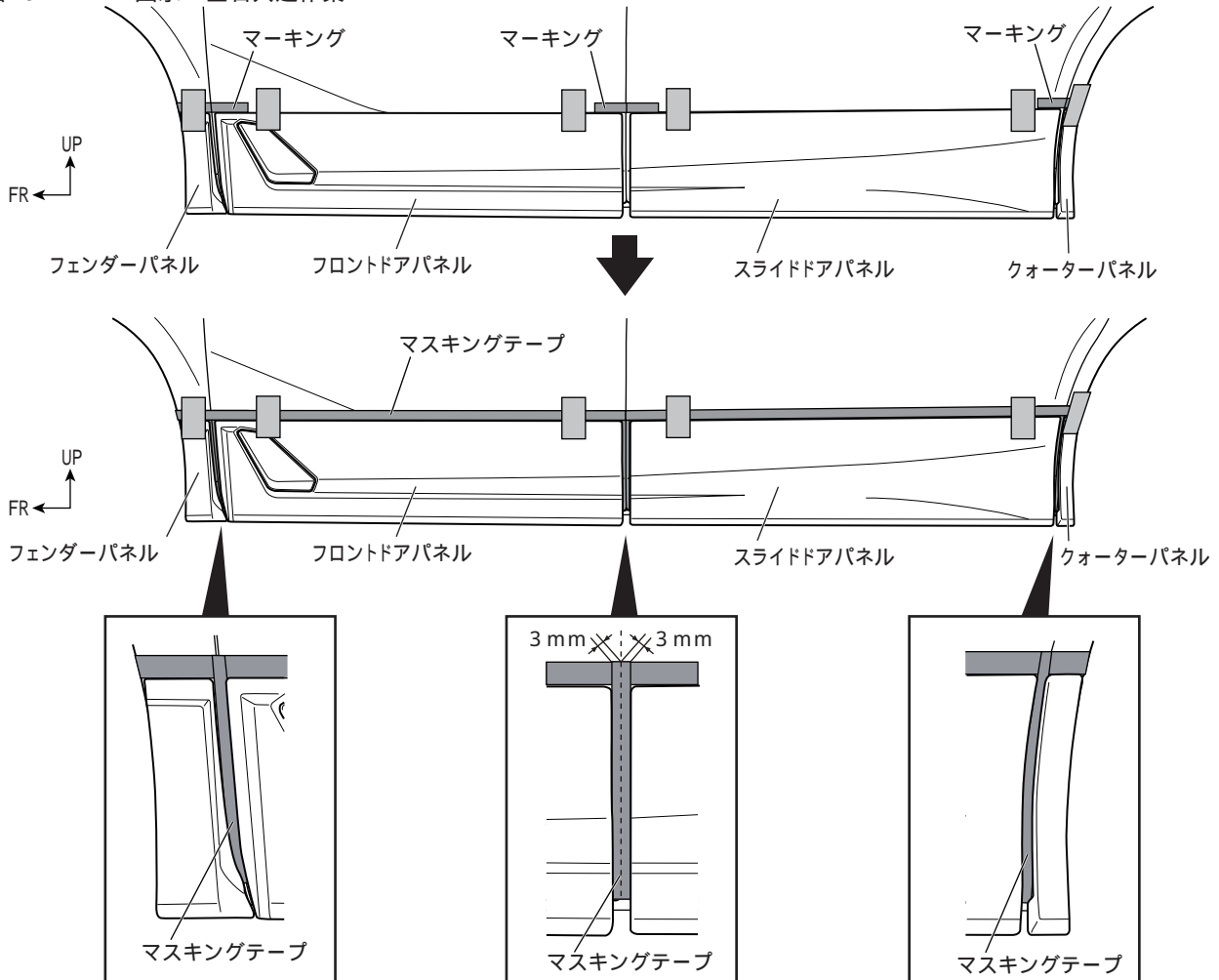
9. 図17のようにリヤホイールハウス折り返し部の車両スクリューを取り外す。

△注意：取り外した車両スクリューは再使用する為、無くさないように保管してください。

10. 図18のように車両にフェンダーパネル、フロントドアパネル、スライドドアパネル、クォーターパネルをかぶせ、モール上端をマーキング位置にあわせてガムテープ等で仮固定する。

11. 図18のように車両にフェンダーパネル、フロントドアパネル、スライドドアパネル、クォーターパネルのモール上端に合わせてマスキング作業を行う。

図 18 LH図示 左右共通作業

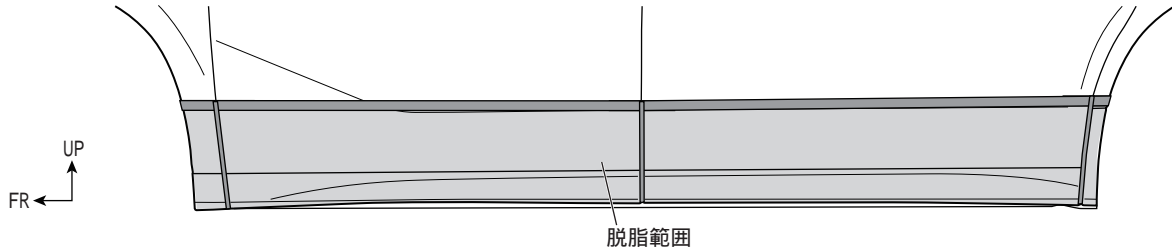


各パネルの周囲を囲うように隣接するパネルの隙間もマスキングしてください。

△注意：PACプライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確な位置出し、マスキングを行ってください。

12. フェンダーパネル、フロントドアパネル、スライドドアパネル、クォーターパネルを取り外す。
 13. 図19のようにフェンダーパネル、フロントドアパネル、スライドドアパネル、クォーターパネルの両面テープ貼付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂する。

図 19 L H図示 左右共通作業

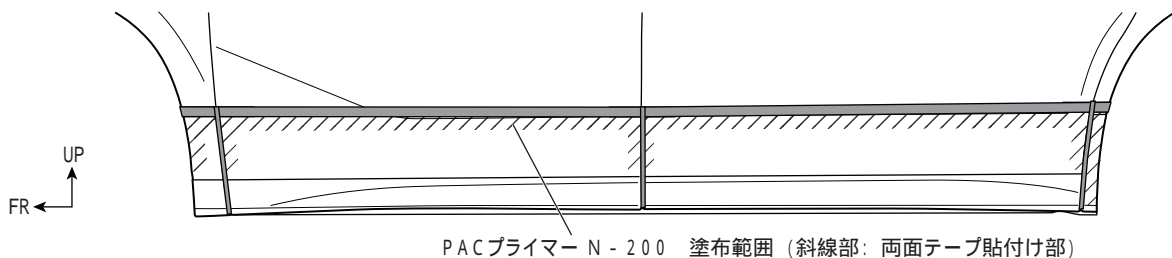


△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

14. 図20のようにフェンダーパネル、フロントドアパネル、スライドドアパネル、クォーターパネルの両面テープ貼付け(下図斜線部)にPACプライマーN-200を塗布する。

図 20 L H図示 左右共通作業



△注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにホワイトガソリンやIPA等で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

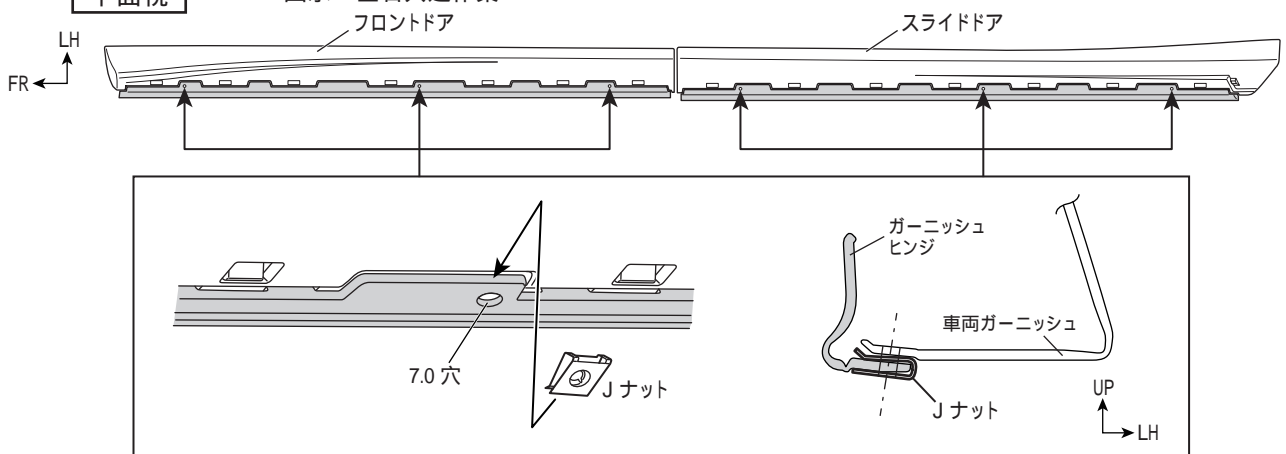
15. マスキングテープを全て剥がす。
 取り付け高さマーキングは剥がさないでください。

本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

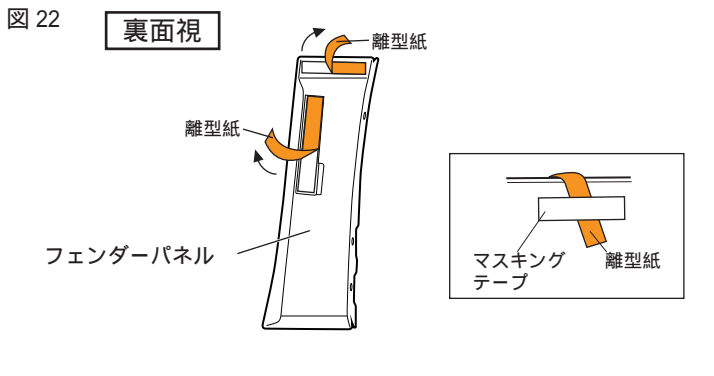
サイドスカートの取付要領

1. 図21のように11ページ 2.であけた車両下面の 7.0穴にJナット を取り付ける。 (左右各6箇所)

図 21 下面視 L H図示 左右共通作業



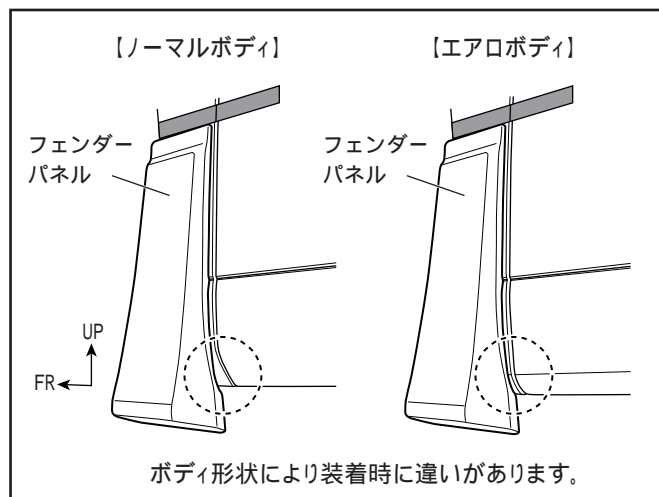
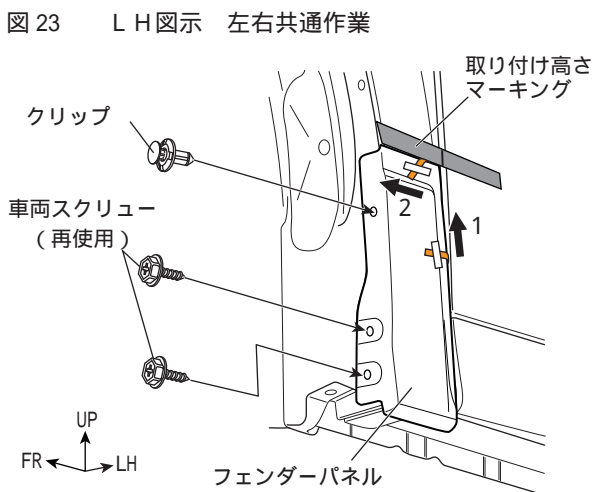
△注意：Jナット の差し込み向きに注意してください。逆に取り付けるとタッピングスクリュー が取り付けなくなります。



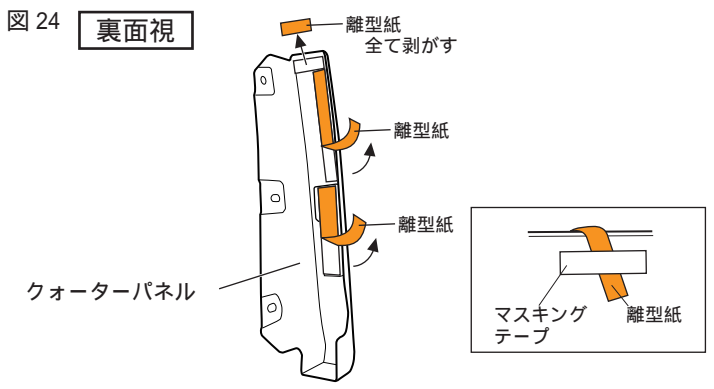
2. 図22のようにフェンダーパネルの両面テープの離型紙を矢印の方向に約30mm剥がしてマスキングテープ等で表側に貼付ける。

△注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40 程度に暖めてください。

- 図23のように車両にフェンダーパネルをかぶせ、モール上端を取り付け高さマーキングに合わせて車両スクリュー(再使用)を仮締めし、クリップを取り付ける。(左右各車両スクリュー2箇所、クリップ1箇所)
- 図23のように取り付け位置、隙を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼付け圧着する。



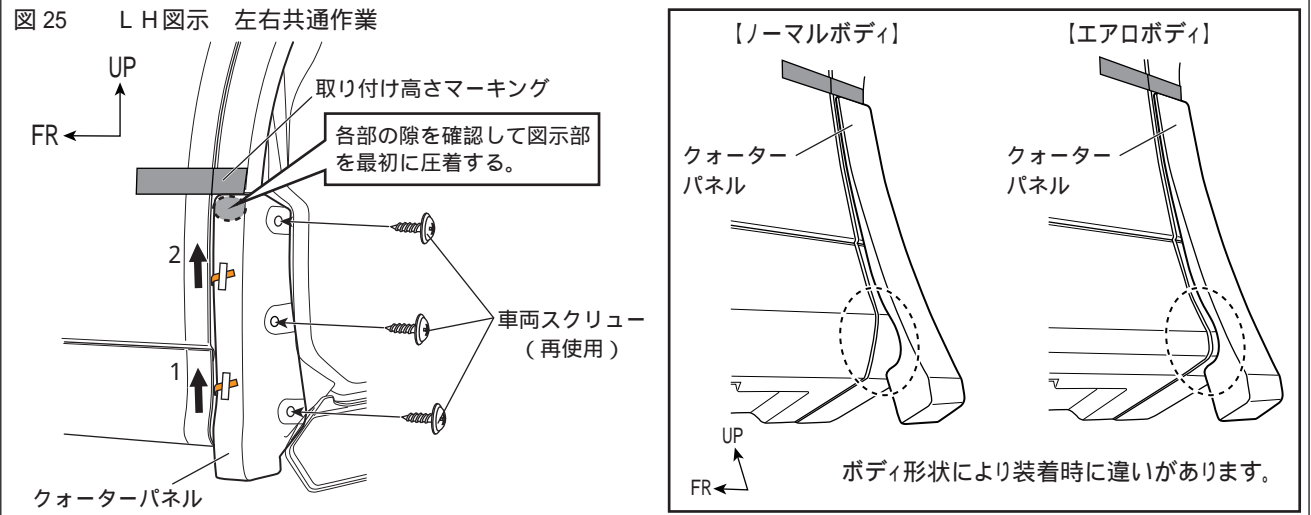
△注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。



5. 図24のようにクォーターパネルの両面テープの離型紙を矢印の方向に約30mm剥がしてマスキングテープ等で表側に貼付ける。

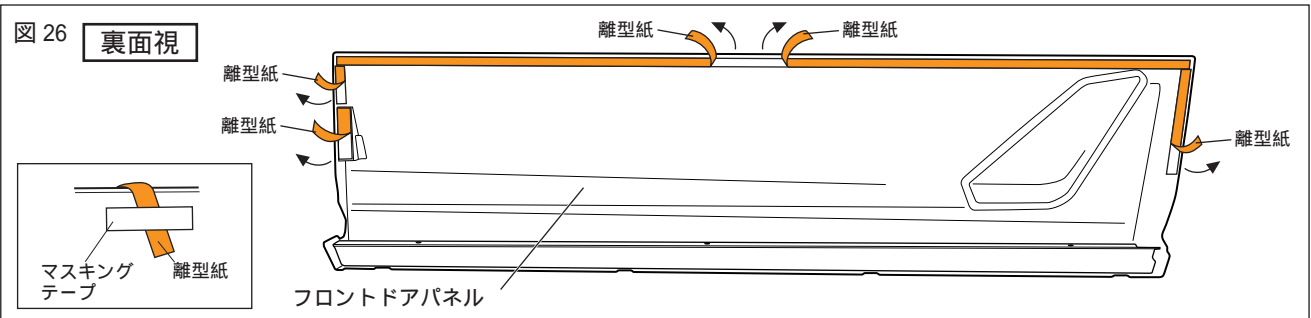
△注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40 程度に暖めてください。

- 図25のように車両にクォーターパネルをかぶせ、モール上端を取り付け高さマーキングに合わせて車両スクリュー(再使用)を仮締めする。(左右各3箇所)
- 図25のように取り付け位置、隙を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼付け圧着する。



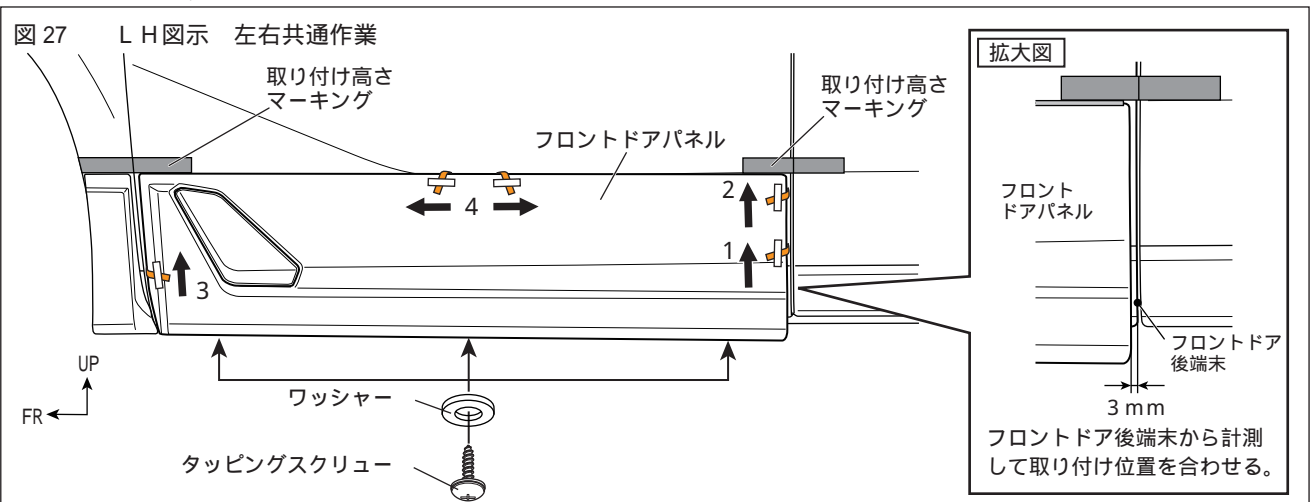
△注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

- 図26のようにフロントドアパネルの両面テープの離型紙を矢印の方向に約30mm剥がしてマスキングテープ等で表側に貼付ける。



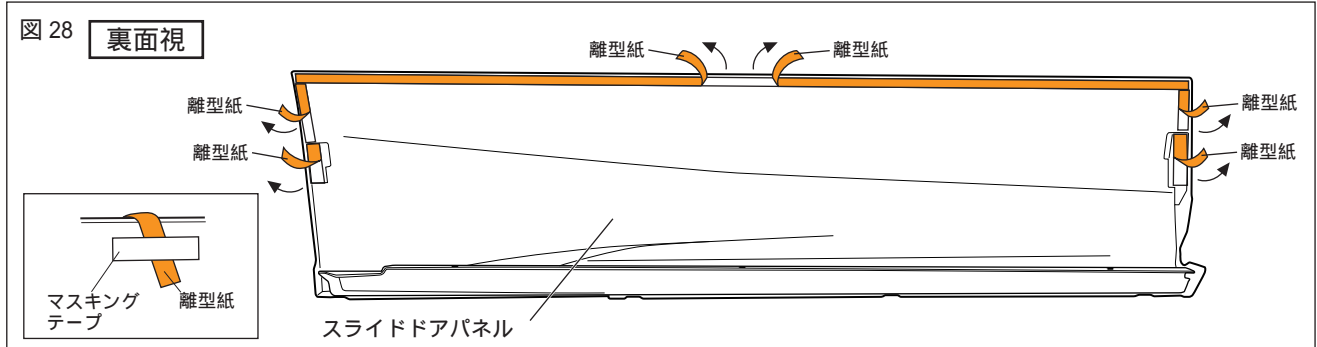
△注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

- 図27のように車両にフロントドアパネルをかぶせ、モール上端を取り付け高さマーキングに合わせてタッピングスクリュー、ワッシャーを仮締めする。(左右各3箇所)
- 図27のように取り付け位置、隙を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼付け圧着する。



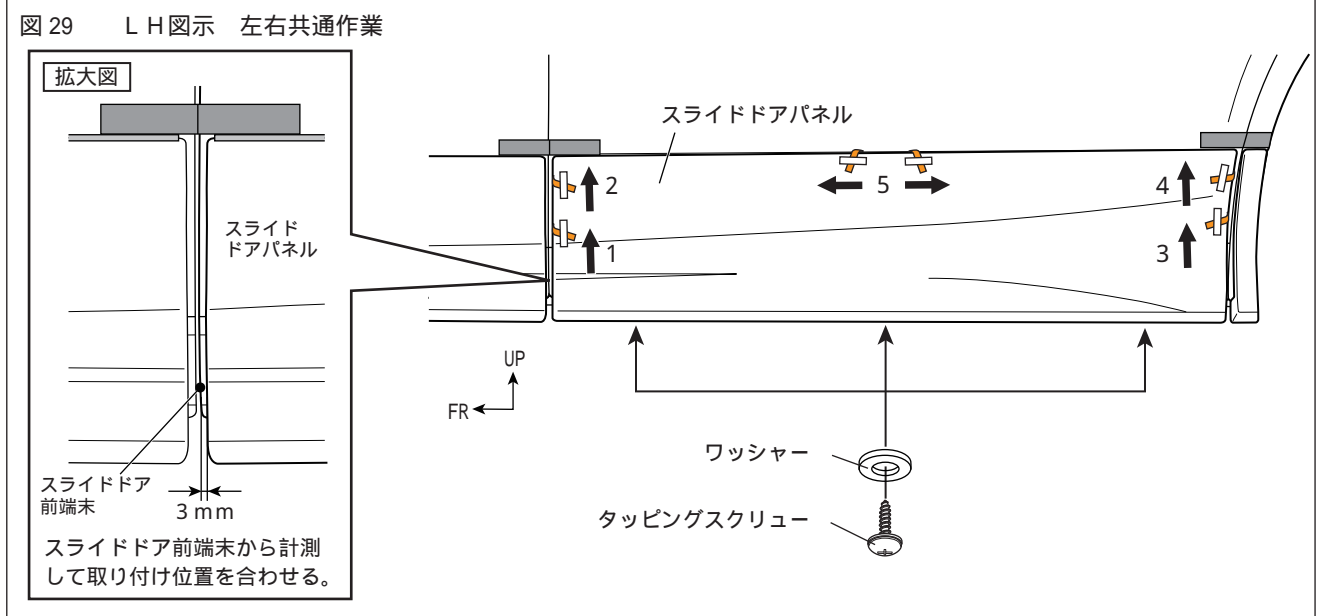
△注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

11. 図28のようにスライドドアパネルの両面テープの離型紙を矢印の方向に約30mm剥がしてマスキングテープ等で表側に貼付ける。



△注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

12. 図29のように車両にスライドドアパネルをかぶせ、モール上端を取り付け高さマーキングに合わせてタッピングスクリュー、ワッシャーを仮締めする。(左右各3箇所)
13. 図29のように取り付け位置、隙を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼付け圧着する。



△注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

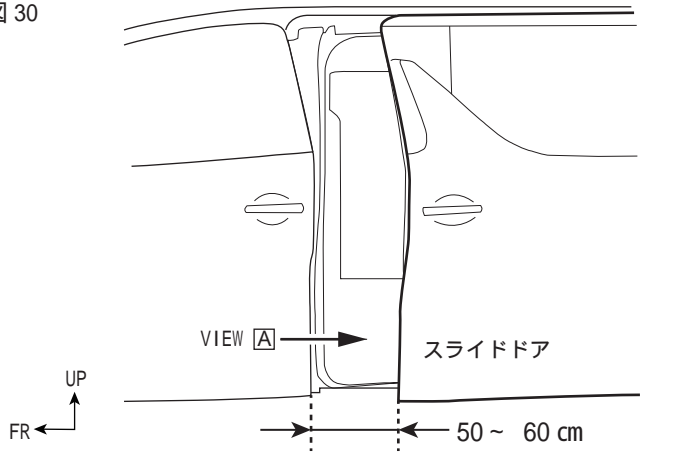
14. 仮締めしていた車両スクリュー、タッピングスクリューを本締めする。
(左右各車両スクリュー 5箇所、タッピングスクリュー 6箇所)

アドバイス 両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。
製品の取付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が、掛からないようにオープンタイム（静止時間）お取りください。

警告 両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。
両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

アドバイス スライドドアハーネスの経路に車両個体差があり、スライドドアを全開した際にサイドスカートと接触する場合があります。スライドドアを全開にした際にハーネスとサイドスカートとの隙間が狭い（10mm未満）場合は、下記の要領を実施してください。

図 30

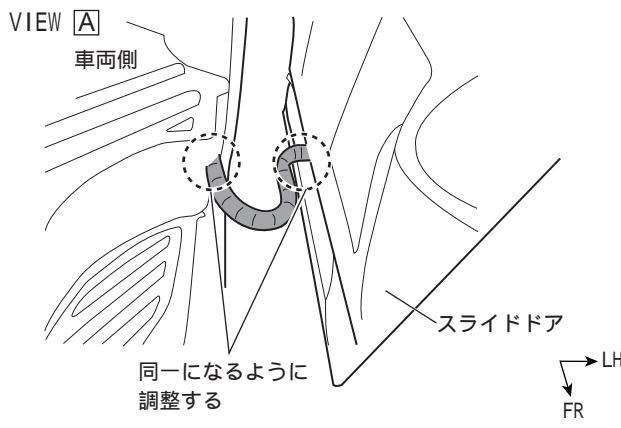


本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

スライドドアハーネスの調整

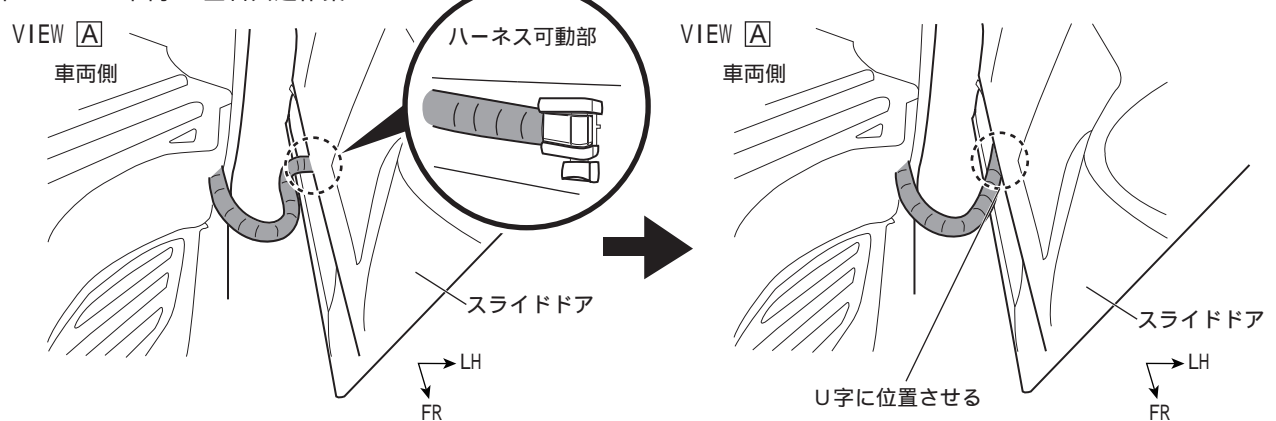
1. 図30のようにスライドドアを約50～60cmまで開ける。
2. 図31のようにスライドドアハーネスの根元部をスライドドア側・車両側が同一になるようにスライドドアの位置を調整する。

図 31 L H 図示 左右共通作業



3. 図32のようにスライドドアハーネスの可動部を車両前方向の位置にする。

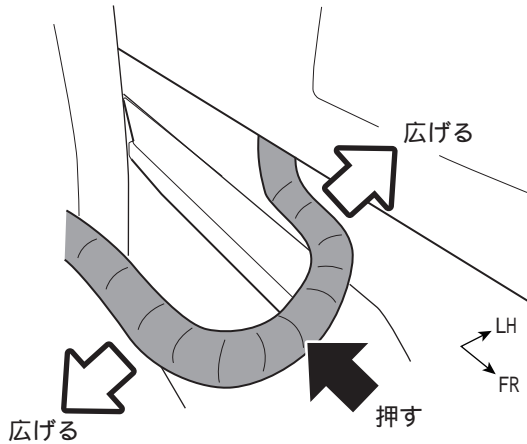
図 32 L H 図示 左右共通作業



アドバイス：ハーネス経路に個体差があるため、角度やハーネスの位置を変えて行ってください。

4. 図33のようにスライドドアハーネス頂点を車両後ろ方向に軽く押さえ、ハーネス経路のクセをとる。

図 33 L H 図示 左右共通作業



△注意：強くハーネスを押し曲げるとコルゲートチューブが白化しますのでご注意ください。

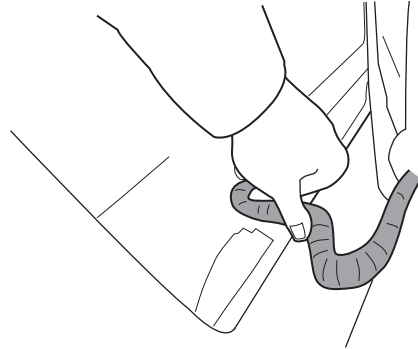
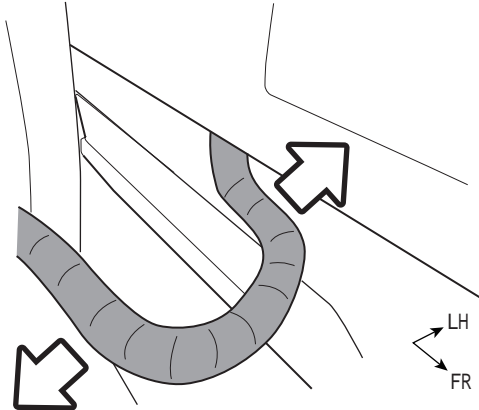
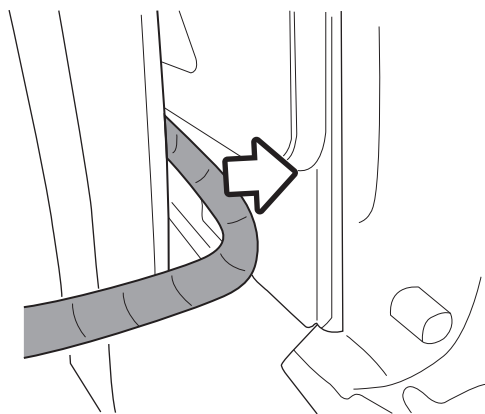


図 34 L H 図示 左右共通作業



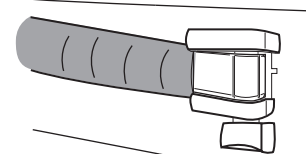
5. 図34のようにハーネスのクセをとり、広がっていることを確認してスライドドアを開閉する。

図 35 L H 図示 左右共通作業



6. 図35のようにスライドドアを全開した際にハーネスがスライドドアに沿うようし、図示部に接触しないように調整する。

△注意：ハーネス可動部の動きが渋く（悪く）なるとハーネスとボディの距離が短くなる傾向にあります。定期的な清掃・エアブローをお勧めします。



ハーネス可動部

取付完了後の点検・注意事項

1. 製品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認する。
2. 車両及びサイドスカート廻りに傷が付いていないことを確認する。
3. 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント
TRD商品問い合わせ窓口
〒222-0002 横浜市港北区師岡町800番地
TEL:045-540-2121 FAX:045-540-2122
<http://www.trdparts.jp/>

